

各常任委員会報告

総務文教

幼保一元化施策 兵庫県新温泉町

兵庫県新温泉町は平成17年にほぼ同規模の2町が合併して誕生した人口約1万6千人の町で奥出雲町とよく似た町です。

視察した「ゆめランド」は平成17年に旧温泉町の2保育所、6幼稚園を統合して建設された施設です。

保育所、幼稚園、子育て支援センター機能が一体化されています。ユニークな点は、保育所籍の子ども、幼稚園籍の子どもが混在していますが、全ての4、5歳児は、午前中は幼稚園の教育指導要領による教育が行われていました。

森のようちえん 鳥取県智頭町



森の中で自由に育てる
森のようちえん

智頭町は、岡山県・兵庫県境の山あいにある人口約8千人の町です。智頭町は百人委員会など住民提案型のまちづくりが盛んに行われています。森のようちえんもターナーで智頭町に移住された方の提案により実現したものです。

森のようちえんは言葉通り、野山の自然環境を利用した園舎を持たないようちえんで、

福祉厚生

広島県庄原市の木質バイオマス活用と 下水汚泥処理について

平成17年に庄原市地域新エネルギービジョンを策定し、産業団地構想、バイオマスタウン構想、地域新エネルギー重点ビジョンを発表し、現在のプロジェクトとなっている。木質バイオエタノール製造実証実験、木質チップボイラーの導入、公共施設へのペレットストーブ導入、ペレットストーブ購入促進補助金、新庁舎へのペレットボイラー導入、木質バイオマス活用プランの整備、庄原産ペレット製造の事業化等を実施している。

山内地区農業集落排水処理施設は平成18年度に建設され、

デンマーク発祥で近年注目を集めています。この日も雨でしたが、子どもたちは、何でも挑戦させるという理念のもと、山々を駆け巡っていました。

現在は、幼稚園や保育所認可を受けることができませんが、町では全面的に後押しし、特区申請も含め幼児教育の柱として取り組んでいます。

計画処理対象人口4千310人、計画汚水量1千164t/日であり杉チップを使用し、発酵分解に6ヶ月を要し、有機肥料として地元に無償配布され施設や肥料に悪臭はありませんでした。

鳥取県

日南病院について

日南町は隣町で人口は5千500人弱、高齢化率は48%医療施設は日南病院のほか開業医2件、歯科医2件。病院は昭和37年に開設され、昭和58年以降27年連続経営赤字となっており、総務大臣や厚生労働大臣表彰を受賞するなど全国屈指の経営優良病院であります。病床数は99床で、職員は常勤医5名を始め100名程度、病床利用率は76%、1日外来患者数184、2人と多く、また平均在院日数は実に13.6日と

短いのが特徴です。「町は大きなホスピタル」とし、患者の生活を考え、「地域包括医療の進化」を進めておられました。「道路は病院の廊下」「おつちは病室」「電話はナースコール」と話を伺い改めて住宅ケアに力を注ぐ姿を伺い知る事ができました。また、できることはやり、当院に必要な(できない)ことは実施しない方針と伺い、住民との信頼関係が十分にできている様子が伺えました。

産業建設

町の観光整備・ 活性化の取り組み

豊岡市出石
出石は、株式会社「出石まちづくり公社」を中心に観光振興でまちづくりがされ、会社資本金9千800万円のうち、豊岡市が2千万円を出資し、市の会社持株比率を随時減らしており、市民参加型で、市民が財政を援助する気構えで取り組んでいました。

出石そばのそば粉の供給策については、転作物として取り組んでおり、各店舗が国内産を確保している。観光客の集客には、女性の評価と魅力的な食べ物メニューが大切

阪急オアシスでの 奥出雲の農産物 直販状況

毎月2回2日間ずつ「ふれあいと鮮度・田舎らしさ」をキャッチフレーズに、本町の野菜を含めて、雲南地域の野菜や加工品の直接販売が実施されています。販売額は1回当り、200万〜300万円で、年間1億円以上に達しており、全ての出荷産品を売り切る等、生産者の生産意欲の向上にも努めているとのことであり、この直販コーナーの人氣が高く、直販事業の拡大を期待するものですね。

洲本市有機資源 センター稼動状況

堆肥調整材の確保が、需要に追いつかない場合は処理施設を持つ酪農家との連携で対応していることや、淡路のマニアスプレッタはタイヤ式であって、天候により左右され散布作業等の実態等を聞きました。製品、堆肥の質は水分が多く、品質比較すれば、奥出雲町産が良質であると実感しました。